

## 平成28年度 第2回 多摩市交通安全対策会議 要点録

### 1 開催日時

平成29年2月24日（金） 14:00～15:00

### 2 開催場所

多摩市役所特別会議室

### 3 出席者 委員8名

会長 阿部裕行（多摩市長）

委員 大塚 満（国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所多摩出張所長）

委員 鹿田哲也（東京都南多摩東部建設事務所長）

委員（新） 大田 晃央（警視庁多摩中央署長）

（代理 高山交通課長）

委員（新） 土居 斉（東京消防庁多摩消防署長）

委員 志村光明（多摩稲城交通安全協会会長）

委員 清水哲也（多摩市教育委員会教育長）

（欠席）

委員 須田雄次郎（多摩市都市整備部長）

事務局 渡邊淳二（多摩市都市整備部交通対策担当課長）

緒方勇也（同交通担当主査）

小塚康喜（同交通担当主任）

### 4 会議要点録

#### （1）議題1 第10次多摩市交通安全計画（案）について

##### ①東京都南多摩東部建設事務所

（計画（案）P15）

尾根幹線東側の整備や関戸橋の架け替えについては説明会を開催して整備を進めていく。幹線道路の整備は、生活道路の通行量を減らす効果もあり、地域の交通安全に寄与すると考えている。

ニュータウン通りなどは道路照明が暗い、との指摘もあり、歩行者用照明を増やしていきたいと考えている。

新大栗橋交差点の安全対策は、当時の事故後2万件に及ぶ署名が集まったこと等もあり警視庁と協力して信号を歩車分離式に変えた。これに伴い、稲城方向から一

ノ宮に向かう部分の車線を1車線増やす予定であり、平成29年12月までに完成させたいと考えている。

(計画(案) P18)

電線の地中化については、都全体で取り組んでいる。多摩地域も緊急輸送道路を中心に無電柱化を進め、ニュータウン通りは島田療育園から乞田新大橋間、乞田新大橋から永山駅までを計画中。市道についても財政的な支援を検討し、面的整備が実現するよう取り組みたいと考えている。

## ②多摩中央警察署

(計画(案) P1)

高齢者の安全確保、二輪車交通事故防止、自転車の安全利用の推進及び飲酒運転撲滅の4点について重点的に対策を講じていこうと考えている。

高齢者の運転免許自主返納は増えている。

運転履歴証明書の発行件数は、平成26年は348件、平成27年は504件、平成28年は571件、平成29年は2月現在で103件となっていて、警視庁管内では田無市に次いで多摩市は2位である。

運転免許自主返納は事故の軽減に大きな効果がある。

返納に対する特典を増やしたり、ポスター掲示等、啓発活動に取り組んでいく。

同時に、教習所とタイアップして技量測定や注意点を認識してもらう等の活動を行っていくにあたって市とも協力していきたい。

多摩地域は比較的自転車事故が多い中、多摩市では交通公園での安全教育の授業やスケアードストレートの実施等、安全教育に対する意識向上に目を向けてもらっている。事故件数も稲城市は年間12件なのに対し多摩市は6件と、教育効果が上がっていると思う。子どもの頃からの安全教育は大人になってからも意識に残っていくものと考えている。

交通安全運動については、今後とも安協や市と協力をしていくことが大切だと考えている。

今後とも安全で快適な交通環境の実現を目指していく。

## ③多摩消防署

(計画(案) P28)

出動要請の6.4%が交通事故によるもの。全国平均が6.6%なので平均的な割合である。

要請が多くなっていることに伴い、到着までの時間が平均7分45秒と長くなってきている。不要な要請は控えてほしい。

到着から受入医療機関までは10分かかっている。多摩市では救命センターが日

医大病院に設置されており、ドクターカーもある。大きな病院は複数科診療の行えるメリットがある。今後とも受入医療機関との連携を深めていきたい。

救命講習会の開催も行っていく。

交通事故に対する体制を向上させていく。

#### ④多摩稲城交通安全協会

各種行事を捉えて駅前や街頭でのキャンペーンを行ってきた。

今後はツイッター等を活用していきたい。

これからも、少しでも事故を減らしていくよう頑張っていく。

#### ⑤多摩市教育委員会

通学路標識の設置や維持管理を継続していく。

学校や保護者が通学路の安全面において改善を要望する箇所について、関係機関と合同点検を行い、通学路の安全確保に努めていく。

#### ⑥多摩市

第10次多摩市交通安全計画（案）の中身は、これまでの第9次や東京都の計画と比して、大きな方向転換等はない。今後も地道にやっていくつもりである。道路付属物や駐輪場についてのハード面の充実もあわせて取り組んでいく。

##### （計画（案）P15）

道路の地下空洞化の調査で空洞が2箇所見つかったがすぐに対応した。来年度も調査を実施していく。

##### （計画（案）P16）

道路照明のLED化を進めていく。街路灯及び公園灯をLED化する予算がついたところだ。

##### （計画（案）P18）

道路の緑化を推進する。安全且つ緑の豊かさを両立するよう工夫していく。多摩NT造成当時は良かったかもしれないが、現在は樹間が狭くなっているのをどうするかも課題である。

##### （計画（案）P3、8、10）

交通安全に関する事項としては、積極的に交通指導員を活用し交通安全の啓発や指導を引き続き行っていく。保育園や幼稚園はもとより、これからは高齢者対策として老人会へ向けた取り組みも進めたい。

##### （計画（案）P12）

スケアードストレート実施事業は、中学校以外での開催を通して広く市民にみてもらいたいが、場所の確保が難しいところ。

⑦京浜河川事務所多摩出張所

施策の重点についても、具体的に触れられ、良い計画（案）だと思う。

京浜河川としても情報提供、情報共有に努めていく。

会長が会議に諮ったところ全員賛成で決定された。

(3) 議題2 その他情報交換について

①京浜河川事務所多摩出張所

関戸橋の架替工事は長い期間を要するため、協力をお願いしたい。

河川の堤防について、昨今はサイクリングロードや潤い空間創出等で利用されているが、事故を懸念している。

昨年は大栗川と浅川の嵩が上がった。堤防の対処を考えている。水位監視カメラの設置、水防団点検の実施、防災教育等を推進していく。「避難準備」等の警報名称が変更になっているので周知のほどよろしくをお願いしたい。引き続き防災に努めたい。

②多摩市長

市ではハザードマップを更新して全戸配布を考えている。

去年の豪雨では、初めて「避難勧告」に至った。これからも気をつけていく。

③南多摩東部建設事務所

雨水処理については、現在では時間50mm 対応済み。今後は65mm 対応をすすめていく。

護岸整備については、環境等も考慮し、愛着を持ってもらえるような方向で進めていく。

去年の鬼怒川の氾濫の規模の雨量だと雨水処理が追いつかない事態も考えられる。早く知らせて早く避難することで減災を目指すことも重要だと考える。

④多摩稲城交通安全協会

引き続き街頭啓発活動を行って行く。最近は酒販組合や日野税務署とも一緒にやっている。他の業界団体にも声掛けを行って飲酒運転撲滅を目指していきたい。

⑤多摩市都市整備部長

2月3日に貝取小学校の校門から敷地内まで宅配業者の車両が暴走した事故があった。当日は公開日だったが、けが人は無かった。門を壊し校庭を走りポールに当たって止まった。運転者は70歳中盤だった。軽車両運送業の各団体宛に市長名で文書を送付した。予め各事業所に電話してみたところ、そういった事故については

会社としても知っておきたいので知らせてほしい、との回答を得ている。

⑥多摩市長

高齢者の事故の報道が増えている。アクセルとブレーキを踏み間違えた事故が、貨物だけでなく、普通車でも起きている。啓発チラシ等があれば市でも配布に努めたいので多摩中央警察署さん、あれば頂きたい。全戸配布もやっておきたい。

「車を止めるときには必ず P レンジに入れろ」等のキャッチコピーや標語があると良いのではないか。

⑦多摩中央警察署

最近の車は、静かなのに力がある。間違っ てアクセルを踏んだのが判らないまま踏み続ける例が多い。言われているほど認知症の事故は多くない。自分は大丈夫だ、という人が起す事故が多い。

(2) 事務局からの報告

次回の会議は、平成 28 年度の事業実施状況報告等の内容で本年 10 月頃を予定している。

これで閉会とした。

(以上)